

1. 都心通勤交通ワーキングについて

1-1 都心通勤交通ワーキングにおける活動方針

都心通勤交通ワーキングでは、平成11年度の交通実験実施地区におけるP&R、P&B Rシステムの本格実施に向けた取り組みを行うとともに、実験地区以外の都市圏におけるP & R、P & B Rの導入可能性について検討を行う。

(1) P & R・P & B Rシステムの本格導入に向けた取り組み

P & Rについては、自然発生的に行われていることもあるため、P & Rの利用促進・拡大を目的に、実験実施地区における本格導入に向けたプロセスの整理を行うとともに、実験地区以外においても、駅直近の大規模商業施設等の駐車場を活用しながら、P & Rシステムの利用促進・拡大に向けて取り組む。

P & B Rについては、仙台都市圏における本格実施例がない新たな施策であるため、まずP & B Rシステムを確立することを目的に、昨年度の交通実験実施地区(中山、富谷)において本格実施に向けた取り組みを進めるとともに、実験地区以外の鉄道不便地域におけるP & B Rシステムの導入可能性を検討し、平成13年度の交通実験の可能性について検討する。

(2) TDM施策の展開に向けた取り組み

P & R施策の推進に当たっての基礎資料として活用するために、都市圏の郊外駅(25駅)について駅周辺の駐車容量、駐車台数、駐車場料金等の駐車場実態把握を行う。

仙台都市圏における都心通勤交通に関わるTDM施策の展開方針を検討する際の参考とするために、平成11年度の交通実験から得られたデータをもとに、P & R・P & B Rの利用条件および転換条件の分析を行う。

(3) 都市圏住民及び都心企業に対するTDM施策の意識啓発と広報活動

都市圏住民をはじめ都心企業に対するTDM施策の必要性等について、継続的に広報活動を行うとともに、今後も積極的に広報活動を展開する。

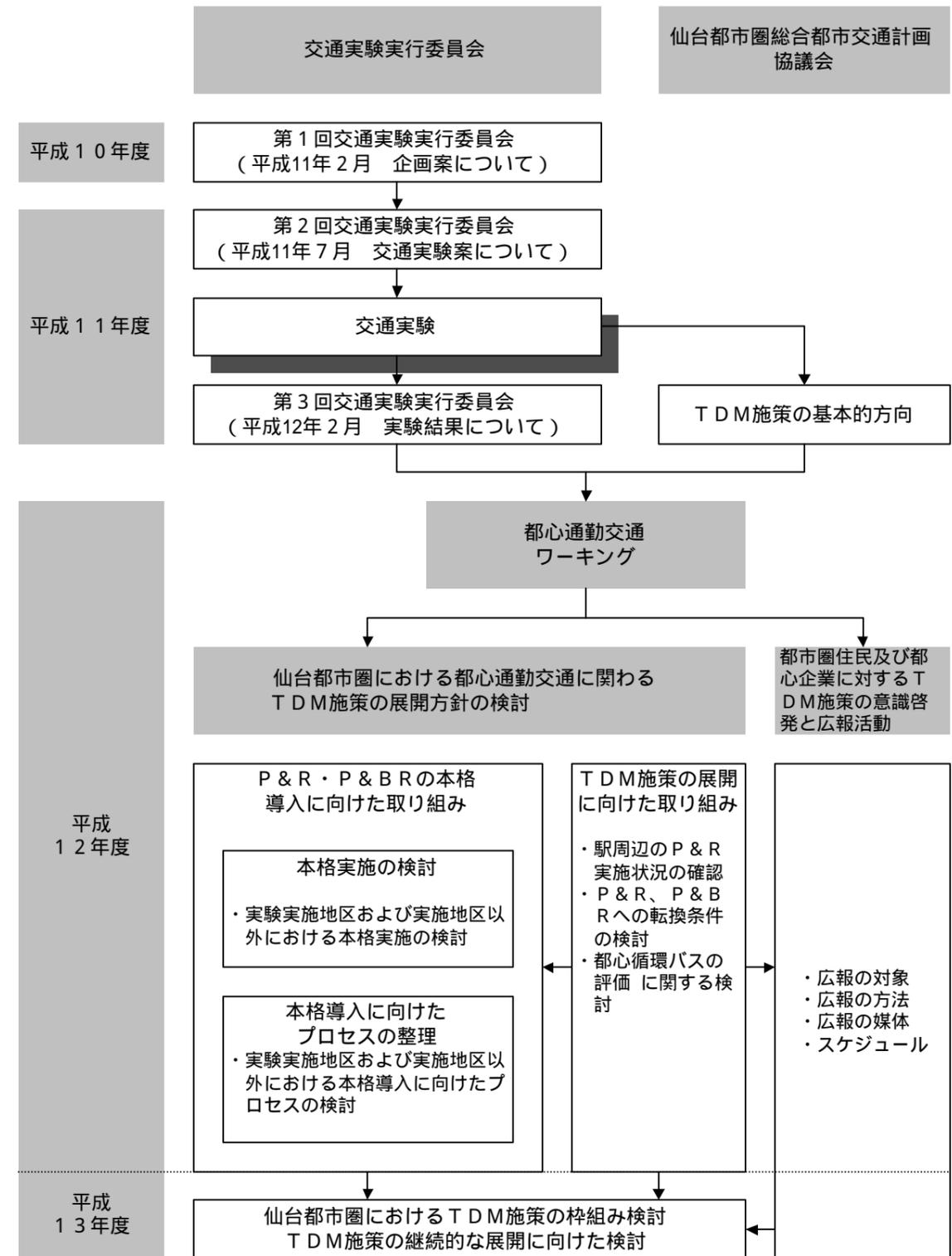


図 都心通勤ワーキングの活動方針

1 - 2 都心通勤交通ワーキングの本年度活動結果

	P & R		P & B R	
	H 1 1 実験実施地区	実験実施地区以外	H 1 1 実験実施地区	実験実施地区以外
本格実施	<p>みやぎ生活協同組合店舗駐車場を活用したP & Rシステムの実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>対象駅：J R 仙石線多賀城駅</p> <p>駐車場：みやぎ生協多賀城店駐車場</p> <p>供用開始日：平成13年5月（予定）</p> <p>駐車台数：30台</p> <p>利用条件：駐車場使用料 + 商品券購入</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>対象駅：市営地下鉄南北線富沢駅</p> <p>駐車場：みやぎ生協富沢店駐車場</p> <p>供用開始日：平成13年5月（予定）</p> <p>駐車台数：20台</p> <p>利用条件：商品券購入</p> </div> </div>		<p>ジャスコ仙台中山店舗駐車場を活用したP & B Rシステムの実施（試行）</p> <p>対象バス停：南中山一丁目、国見ヶ丘一丁目北（既存バス路線を活用）</p> <p>駐車場：ジャスコ中山店駐車場</p> <p>供用開始日：平成13年5月（予定）</p> <p>駐車台数：50台</p> <p>利用条件：商品券購入</p>	
本格導入に向けたプロセスの整理	<p>利府・名取・多賀城地区の取り組み</p> <p><利府></p> <ul style="list-style-type: none"> ・J R 東日本朝の通勤時間帯に1便増便 ・町営駐車場をP & R用に毎週月曜無料開放の試行 <p><多賀城></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通実験での駐車場提供者（長崎屋多賀城店）との調整を継続 ・連続立体交差化事業後のP & R用駐車場確保に向けた検討 <p><名取></p> <ul style="list-style-type: none"> ・名取駅周辺民間駐車場のP & R利用拡大に向けたP R方法を検討中 		<p>富谷地区におけるP & B Rシステム本格導入に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの候補地について利用者側からみた検討 ・対象駐車場：新富谷ガーデンシティと明石台団地の2箇所 ・バス事業者：現行運行本数に対する増便の可能性 ・駐車場管理：駐車場料金、駐車場管理等に関する調整 <p>本格導入に向けたプロセスの明確化 平成13年度に交通実験実施も検討</p>	
TDM施策展開に向けた取り組み	<p>駅周辺駐車場の実態調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J R 3路線、地下鉄南北線の郊外駅（25駅）を対象に現況の駐車場の状況（駅周辺200m内の駐車場容量、駐車台数、駐車料金等）を把握 ・平成5年の実態調査との比較 		<p>TDM施策への転換条件の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P & R、P & B Rへの転換条件（転換可能性、利用条件）の分析 ・転換可能性（転換する可能性の高低）は、通勤手当の形態（自動車全額支給されている人は低い）、通勤自動車の所有者（会社所有の人は低い）、業務の形態（日中業務で使用する人は低い）等の要因が影響 ・利用条件（転換可能な人の利用の頻度）は、自動車の最大所要時間とP&R・P&B Rの平均所要時間の差（差が大きい人ほど利用が多い）、乗換回数（多いほど利用は少ない）、性別、年齢、業種、職種、入社時刻等の要因が影響 	
広報活動	<p>経済団体等を通じた会合における主に都心企業を対象とした広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台商工会議所交通運輸部会における広報活動 ・仙台青年会議所定例会における広報活動 ・都心や東部流通地区事業所ヒアリングにおける都の交通大作戦（交通実験レポート）パンフレットの配布 		<p>各種媒体を活用した主に都市圏住民を対象とした広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設フェア（県展示コーナー）における広報活動 ・仙台都市圏TDM施策推進協議会のホームページの設立 ・都の交通大作戦（交通実験レポート）のパンフレットの配布 	

図 都心通勤交通ワーキングの本年度活動結果

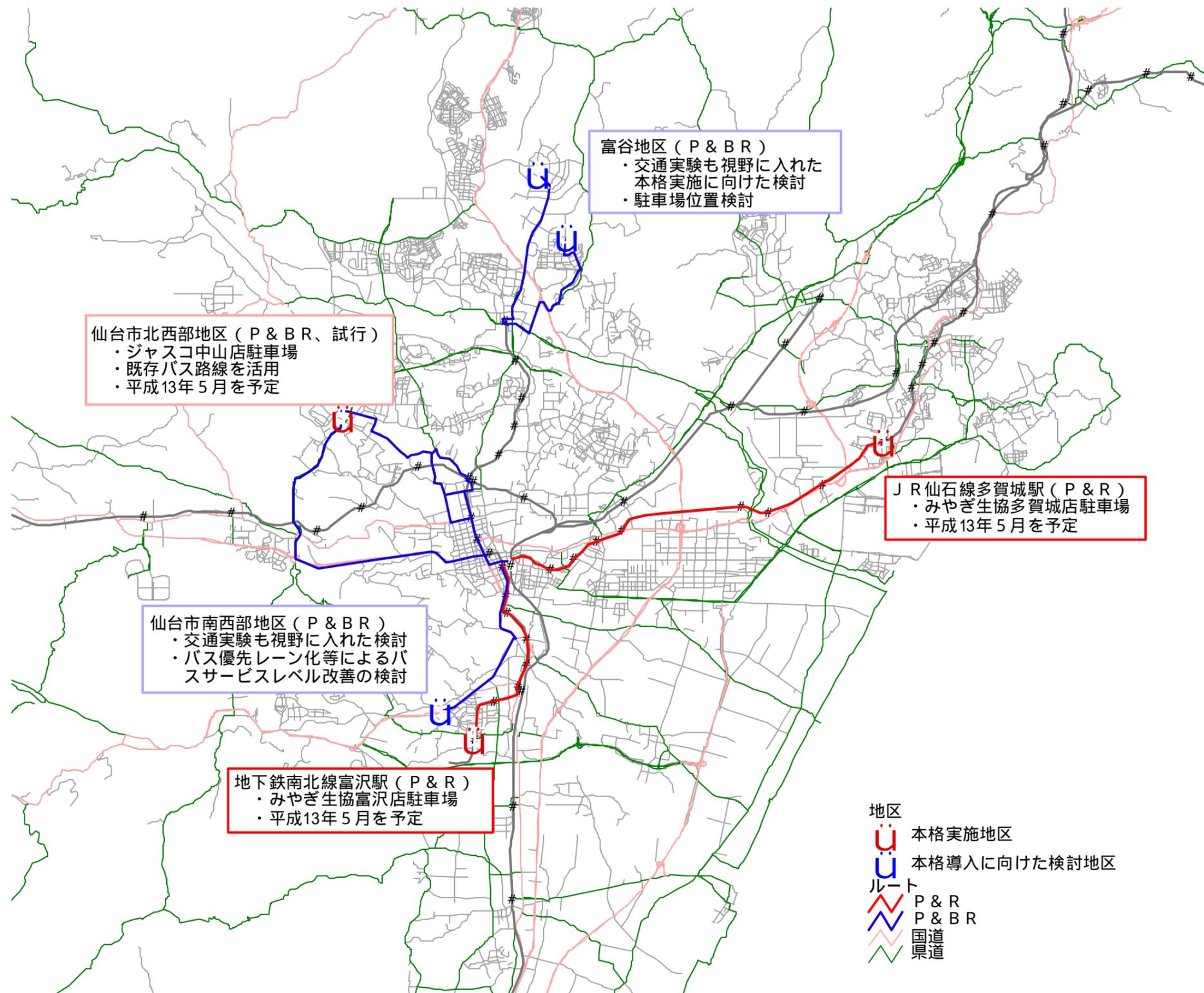


図 TDM施策の本格実施地区及び本格導入に向けた取り組み地区

1-3 P&R・P&B Rシステムの本格導入に向けた取り組み

本格導入に向けた取り組みとしては、昨年度の実施地区での本格実施の可能性を探るとともに、P&Rについて駅周辺の大規模商業施設のP&R駐車場としての活用可能性について事業主と協議を進めた。その結果、P&R2地区(多賀城、富沢)、P&B R1地区(中山)において事業主等から協力が得られたため、本格的な実施を行う。

(1) P&R・P&B Rの本格実施

みやぎ生活協同組合店舗駐車場(多賀城店、富沢店)を活用したP&Rシステムを実施

表 みやぎ生協多賀城店・富沢店実施計画(案)

	みやぎ生協多賀城店	みやぎ生協富沢店
駐車場	みやぎ生協多賀城店 東側駐車場	みやぎ生協富沢店 駐車場
最寄り駅	J R仙石線 多賀城駅(徒歩約3分)	地下鉄南北線 富沢駅(徒歩約3分)
募集台数	30台	20台
利用条件 駐車料金	J R定期券1ヶ月分につき、駐車場使用料の支払いと生協商品券の購入	地下鉄定期券1ヶ月分につき、生協商品券の購入
対象者	仙台中心部に自動車通勤している生協組合員でそれが証明できる人	
利用開始日	平成13年5月予定	

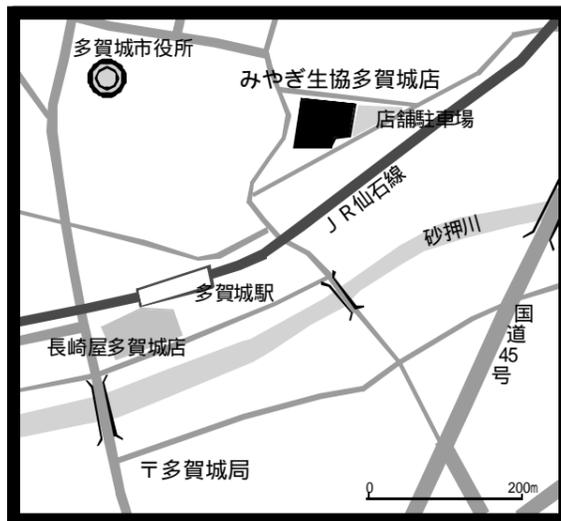


図 みやぎ生協多賀城店



図 みやぎ生協富沢店

ジャスコ仙台中山店店舗駐車場を活用したP&B Rシステムの実施(試行)
昨年度の実験を踏まえ、ジャスコ仙台中山店駐車場を活用したP&B Rを本格的に実施(試行)する。

表 ジャスコ仙台中山店実施計画(案)

駐車場	ジャスコ仙台中山店 スポーツ館前駐車場
最寄バス停	南中山1丁目(現行バス) 国見ヶ丘1丁目北(快速バス)
募集台数	50台
利用条件 駐車料金	バス定期券もしくはバスカード1ヶ月分につき、ジャスコ商品券の購入
対象者	仙台中心部に自動車通勤しているジャスコお客様会員でそれが証明できる人
利用開始日	平成13年5月予定
その他	バス運行サービス 仙台駅行 6~8時台34本 中山着 17~23時42本

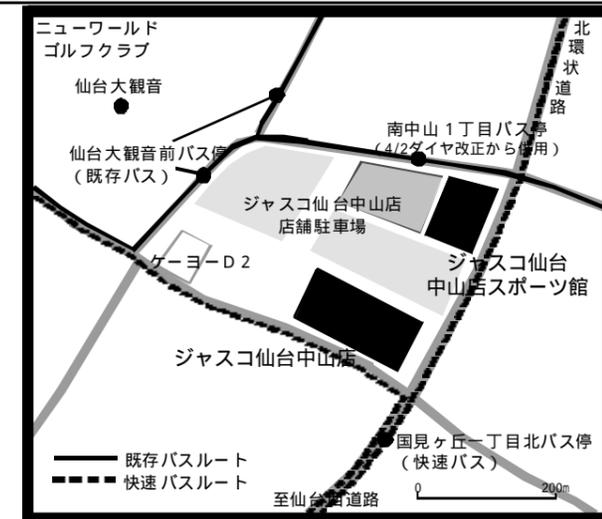


図 ジャスコ仙台中山店

(2) 本格導入に向けたプロセスの整理

昨年度実験を行ったP&R地区については、本格導入を意識しながら、地元自治体等と利用促進策について検討・協議し、P&B R地区についてはシステム確立に向けて本格導入に向けた検討を行った。

P&R3地区(平成11年交通実験実施地区)

表 3地区におけるP&R利用促進に向けた取り組み・動向

利府地区	<ul style="list-style-type: none"> 朝の通勤時間帯に1便増加(J R東日本) 平成13年5月上旬から3ヶ月間、利府駅東口町営駐車場をP&R用に毎週月曜無料開放を試行する
多賀城地区	<ul style="list-style-type: none"> 交通実験時の駐車場提供者(長崎屋多賀城店)との調整を継続 連続立体交差事業後のP&R用駐車場確保に向けて地元自治体や交通事業者と協議しながら検討
名取地区	<ul style="list-style-type: none"> 名取駅周辺民間駐車場のP&R利用促進に向けてPR手法を地元自治体と検討中

富谷地区におけるP & B Rシステム本格導入に向けた検討

富谷地区は平成11年度の実験で使用した駐車場を本格実施では利用できないため、周辺地区で利用可能な駐車場用地を検討し、本格導入に向けたプロセスの整理を行った。

利用可能な駐車場用地として「明石台地区」と「成田地区（新富谷ガーデンシティ）」の2箇所が候補地として残り、利用者側からみた2地区の評価（駐車場へのアクセス性、バスの走行性、通勤時・帰宅時のバス運行、通勤費用）を行った結果、成田地区の方が利用者から見て利用しやすい駐車場である。

今後、バス事業者や地元自治体、土地所有者等と、主に費用面での駐車場運営に関する協議やバス運行に関する協議を重ねながら課題を解決しながら、本格実施に向けた取り組み（限りなく本格実施に近い条件での試行を含む）を進める。

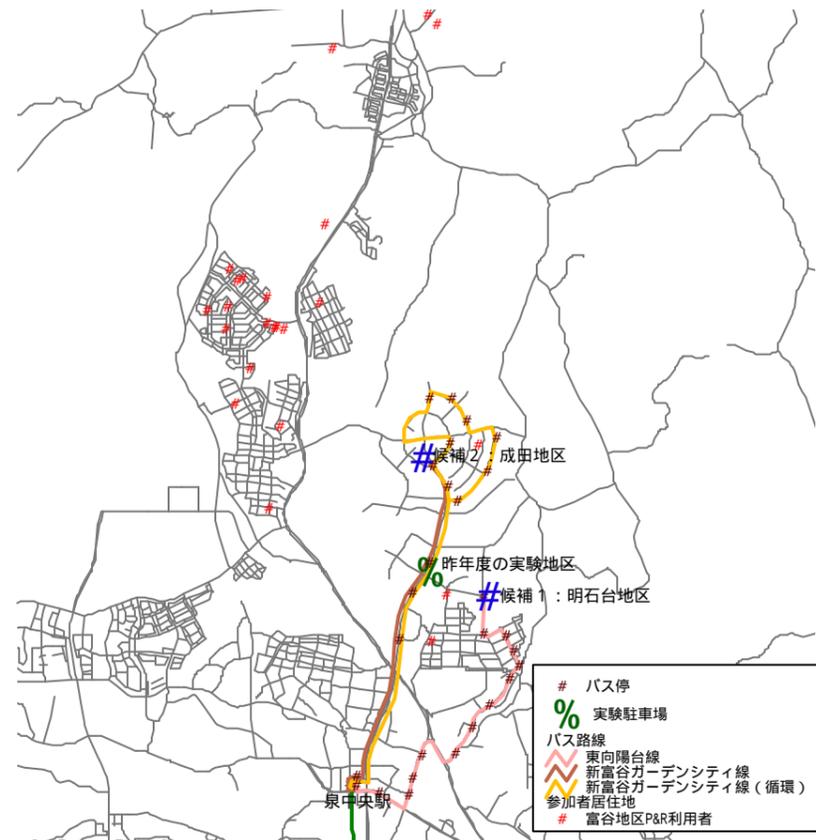


図 富谷地区駐車場候補地区とバスルート

仙台市南西部地域におけるP & B Rシステムの検討

昨年度の交通実験地区以外においてP & B Rの候補地として考えられる仙台市南西部においてバスレーンとの組み合わせによるバス走行性を確保した交通実験を平成13年度に行うことを視野に入れ、関係機関との調整を重ねながら導入可能性を検討する。

1 - 4 P & R、P & B Rへの転換条件の分析

平成11年度の交通実験の際に得られたアンケートから、今後のP & R、P & B Rへの転換条件の分析を行った。

(1) 転換条件の分析から得られた結果

転換条件（転換可能性の検討、利用条件の検討）の分析から得られた結果から、P & RやP & B Rへの転換可能性に及ぼす要因、利用頻度に及ぼす要因を整理すると以下の通りである。

転換可能性の要因	<ul style="list-style-type: none"> 自動車通勤前提で通勤交通費が支給されている人は転換可能性が低い 勤務先所有の自動車通勤する人は転換可能性が低い 入社時刻が早い（午前8時前）の人、業務で自動車を使用する人は転換可能性が低い 都心中心から離れた地域の人は転換可能性が低い 車利用に対する社会意識で自動車志向が強い人ほど転換可能性は低い
利用頻度の要因	<ul style="list-style-type: none"> 自動車通勤時の最大所要時間が大きくP&R・P&BRの平均所要時間が小さい人、勤務先までの乗換回数が少ない人は利用頻度が高い 女性、高齢、管理職の人は利用頻度が高い 入社時刻が早い（午前8時前）の人、勤務が深夜になる人は利用頻度が低い 車利用に対する社会意識で自動車志向が強い人ほど利用頻度は低い

(2) 分析結果の活用方向

本格実施に向けた検討・施策展開の検討への活用

- 分析から得られた要因（個人属性、勤務形態、通勤手当の支給形態、自動車通勤する理由、自動車最大所要時間等）について、都市圏住民や施策候補地の住民のデータを把握すれば、各地域で利用可能性が高い人がどの程度いるか、P & R・P & B Rシステムの違い（駐車場位置、公共交通のサービスレベル等の違い）による利用頻度の変化、次期施策候補地の利用状況の比較検討等へ活用可能

都心企業へのP R

- 入社時刻が早い企業や業務上自動車を使わざるを得ない企業以外へ積極的なP R活動
- 都心企業へ公共交通費での通勤手当の支給奨励、持ち帰り車を減らすように協力依頼
- 地域住民へのP R
- 地域住民の属性を把握すると転換可能性が高い層を把握できるため、そういった人を対象に積極的なP R活動
- P Rの内容へ分析結果を反映（利用しやすい条件の人へ直接的に訴えかける内容に）

1 - 5 都市圏住民及び都心企業に対するTDM施策の意識啓発と広報活動

(1) TDM施策の意識啓発と広報活動に関する本年度活動結果

各経済団体で定期的開催される会合における企業経営者・幹部等の出席者や、イベントにおける入場者等に対して、TDM施策の概要と必要性について、パンフレット・実験記録ビデオ等を活用した広報活動を行った。

表 本年度活動結果

	活動内容	時期	備考
都心企業	仙台商工会議所 交通運輸部会	H12/11/22	約 30 名
	仙台青年会議所 定例会	H13/2/14	約 150 名
都市圏 住民・企業	交通実験参加者等へのパンフレット送付	H12/8/22	参加者 436 名 非参加者 386 名
	建設フェアにおけるパンフレット配布と実験記録ビデオ放映	H12/9/30	入場者 6 万 8 千人
	協議会ホームページの新設（交通実験 HP から移行）	H12/12/25	
	都心・東部流通地区企業エリアにおけるパンフレット配布	H12/10～	

(2) 本格実施地区における利用者募集活動

多賀城・富沢地区におけるP&Rや中山地区におけるP&B Rの本格実施、利府町営駐車場のP&R無料開放試行の5月実施に向け、各種媒体を活用した積極的な利用者募集活動を予定している。

表 本格実施地区における利用者募集活動（予定）

		P & B R		P & R	
		中山	富沢	多賀城	利府（試行）
各種広報誌	仙台市「市政だより」H13/4/1号 特集（2頁）				
			多賀城市「市政だより」 H13/4/1号 「市からのお知らせ」	利府町「町政だより」 H13/4/1号 「町からのお知らせ」	
		みやぎ生協 組合員向け広報誌 4月号			
新聞	朝日・読売・産経・毎日・河北各紙 日曜版（4/1,15）「県からのお知らせ」				
ラジオ	東北放送ラジオ 金曜日 15:59～16:00（4/6,20）「県からのお知らせ」				
ホームページ	協議会ホームページによる情報提供及び関係機関ホームページへのリンク				
道路情報板	国道48号 (主)仙台北環状線	国道4号 (主)仙台館腰線	国道45号 (主)仙台塩釜線	(主)仙台松島線	
ポ ス タ ー 掲 示	店舗内	ジャスコ 仙台中山店	みやぎ生協 富沢店・中田店 名取が丘店・柳生店	みやぎ生協 多賀城店・大代店 塩釜杉の入店 塩釜玉川店	ジャスコ 利府店
	交通機関	市営バス車内 快速バス等	地下鉄駅 富沢駅・長町南駅	J R 駅（仙石線） 多賀城駅・下馬駅 西塩釜駅・本塩釜駅	J R 駅（東北本線） 利府駅・岩切駅

1 - 6 平成13年度の検討について

平成13年度は、P&RやP&B Rの本格実施と適用拡大の取り組みを継続するとともに、交通結節点におけるTDM施策の方向性や、今後のTDM施策展開に向けた官民協働型組織のあり方と行政支援策について検討する。

(1) 仙台都市圏におけるTDM施策の枠組みの検討

P & R・P & B Rシステムの確立

・ 平成13年交通実験の実施

仙台市南西部地区や富谷地区におけるP & B R実験の可能性を検討し、料金収入やバス運行内容等の条件設定や、バス優先レーン等の適用可能性など、実験システムの検討を行い、平成13年度中に交通実験を実施する。

・ 大規模商業施設駐車場の活用によるP & R・P & B Rの適用拡大

みやぎ生協やジャスコにおける事例を踏まえ、都市圏各地区の大規模商業施設駐車場をP & RやP & B Rに活用したシステムを確立し、都市圏のP & R・P & B Rの利用拡大を推進する。

交通拠点におけるTDM施策の方向性

仙台都市圏の主要な交通拠点である仙台駅及び泉中央駅の交通結節機能について検証し、交通拠点としての施設機能の拡充強化や交通環境の改善など、TDM施策の導入可能性を含め総合的な検討を進める（本年度、その一部である都心循環通勤バスや都心路上荷捌き駐車対策などの検討を行っている）。

(2) TDM施策の展開に向けた検討

官民協働型組織のあり方の検討

本協議会の活動を踏まえ、行政と都市圏企業・住民が連携したTDM施策展開を積極的に推進するための官民協働型組織のあり方について検討する。

施策展開に向けた行政支援策の検討

官民協働によるTDM施策展開を推進するために、P & RやP & B R用駐車場整備に対する助成や協力企業に対する支援策、バス走行空間を確保するためのマイカー規制策など、行政による支援策や手法等について検討する。

(3) TDM施策の利用を促す情報提供活動

TDM施策の必要性についての広報活動を継続するとともに、インターネット等を活用した駅周辺駐車場空き情報の提供等、情報のネットワーク化について検討する。